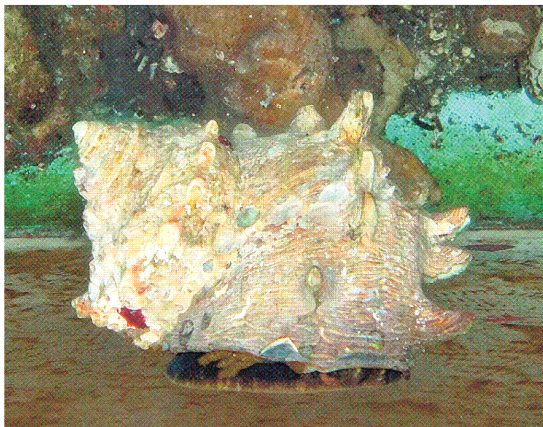
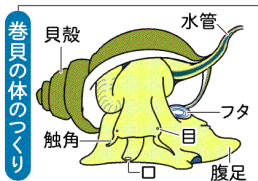


⑤殻の突起が特徴のサザエガラスの水槽に張り付いたサザエの腹足。中央で二つに分かれている



サザエ

学名 *Turbo sazae*

分類 古腹足目サザエ科
大きさ 殻長約10cm
分布 北海道～九州（潮の満ち引

きにより地面が現れたり、水没したりする潮間帯から、水深30cmの岩や石に覆われた海底に生息）

食べ物 岩についている海藻など
特徴 殻が丈夫で厚く、ふたも厚く頑丈で丸い。ふたの外表面には左巻きの畝があり、小さいとげが密生している。波の荒い場所では殻表面の突起が長く発達する。成長するにしたがって深い場所に移動するといわれている

左右の腹足動かし移動

みなさんおなじみの海の巻貝という「サザエ」です。あの有名な国民的漫画のタイトルにもなり、海岸の磯焼きで食べたことのある人も多いかもしれません。

よく知られていても、動いているところを観察したことがある人は少ないのではないのでしょうか。ましてや移動する時の足の役割をする「腹足」の様子を見たことのある人

は、もっと少ないでしょう。サザエは同じ巻貝の仲間であるカタツムリやタニシ、ホラガイなどと違って、移動方法に面白い特徴があります。ほとんどの巻貝は体を殻から出して、岩や海藻などに腹足をびたりくっつけながら少しずつ移動します。この時、腹足の裏全体を少しず

おもしろ生き物図鑑

かごしま水族館から

つ波打たせて移動するので、サザエの腹足は中央の溝により右と左に分かれていて、交互に動かしなが

ら、まるで2本の足で歩くかのように進みます。このように移動する巻貝は多くあります。

サザエは夜行性で、日没後に岩盤の割れ目や石の下から出てきて、岩に付いた海藻などを食べます。波の荒い場所にいるサザエは、転がり落ちにくいように殻の突起が長く発達して、穏やかな海にいるサザエは突起が短いか全くない場合もあるといわれています。魚屋さんで水槽のガラスに張り付いているサザエを見かけたら腹足と、とげの長さに注目してください。

・船川賢治

（展示課学習交流係主任）